

## おくりもの

吉井小学校へ

●児童用図書38セット、打楽器等8セット

吉井町 海山家隆様から  
学校教育充実のため

ご寄贈いただきありがとうございました。

## 臨時的任用職員 (夏季ごみ収集作業)を募集

本年6月から9月に環境管理事務所において、臨時的に任用する職員を募集します。

応募資格 平成13年6月3日以前に生まれた方

採用予定人員 10人  
賃金 日額9500円

勤務時間 原則として月曜日～金曜日の午前7時30分～午後4時15分

応募方法 履歴書(市販のものに自筆、写真貼付)を人事課へ提出してください。募集案内は、応募期間中に人事課で配布します。

応募期間 4月2日(火)～26日(金)の午前8時30分～午後5時

15分(土、日曜日等、閉庁日は除く)

選考方法 面接および体力テストを実施します。

選考日 5月8日(水)

問い合わせは 人事課(☎22-11112)へ

## 「ふるさとづくり基金」 助成申請の募集について

助成対象

▼市の活性化および地域の振興につながる、営利を目的としない市民の自発的な活動(地域イベント・文化活動・スポーツ行事等)を行う団体への助成

▼海外視察研修(本市に2年以上在住し、年齢が満10歳から49歳までの方で、視察研修の体験が地域づくりの実践につながると思われる方)

申請方法および交付の決定

助成を希望される方は、定住促進課備え付けの申請書に必要事項を記入の上、6月28日(金)までに提出してください。助成の選考と金額など詳細は基金運営委員会の審議を経て決定します。

問い合わせは 定住促進課

(☎22-7404)へ

市長通信

## お元気ですか



阿南市長  
岩浅嘉仁

## 日本にも病院船を

私は、衆議院議員時代に数年間、安全保障委員会委員を務めておりました。その時から2つの持論を持っていました。それは、日本も病院船を建造すべきだということ、沖縄の米軍基地負担軽減の問題です。

まず、申すまでもなく、日本は四面環海の国であり、海岸線が複雑に入り組んでいるため、その延長は日本の25倍の面積があるアメリカの1.5倍、26倍近くある中国の2倍以上あります。日本は島国ゆえに海に生かされ、海に苦しめられるのが宿命の国です。



アメリカ大使  
と筆者  
駐日アメリカ大使  
モンテール(元アメリカ副大統領)

外国においては、アメリカ・中国・ロシアが病院船を保有しています。特に充実しているのがアメリカで、2隻の大型病院船を保有し、米海軍の「マシー」(全長272メートル、総トン数54367トン、速力17.5ノット)は高性能で、1976(昭和51)年に就航したタンカーを大改造し、1986(昭和61)年から本格的な世界最大の病院船に生まれ変わりました。

医療設備は、手術室12室、集中治療室(ICU)80室、ベッド数1000床、X線室4室、CTスキャン室1室、血液銀行、酸素発生装置2台、視力検査室、歯科治療室など、そして船体中央部にはヘリコプター用の大型甲板があり、ヘリパッドから3基のエレベーターで診療室へ直行できるよう配置されています。また、特筆すべきは世界最先端の手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ・エックス・アイ)も搭載されていることです。

「マシー」は、アジア・太平洋地域での医療活動・文化交流を行い、災害発生時の救援活動の指導もしています。また、中国の病院船も、平時は発展途上国で医療活動を展開しています。そんな中、先日(2019年5月)の新聞報道によると、日本政府は海上自衛隊の艦船を、災害時多目的船(病院船)として運用する方針を固めたようです。日本の病院船については、東日本大震災をきっかけに、本格的導入が検討されてきました。震災当時、岩手・宮城・福島の被災3県の計380病院のうち300の病院が全壊あるいは損壊し、その機能が失われたといわれています。大切なことは、病院船は戦争ではなくあくまで災害対応(平和の象徴)としてとらえなければならぬということです。

さて、1996(平成8)年、当時の橋本龍太郎首相は、モンテール駐日米国大使(元副大統領)と共同記者会見を開き、米軍普天間基地が5～7年以内に全面返還されると発表しました。しかし、いまだに返還は実現されていません。ご承知のとおり、辺野古問題を全国民が考えなければならぬ時が来しました。